

## 年間指導計画および評価の計画作成にあたって

### ● 本資料のねらい

本資料は、令和6年度版 光村図書 小学校「書写」を使用するにあたって、年間指導計画を作成する際に参考になることを意図して作成したものである。年間指導計画の作成にあたっては、学習指導要領の基本的な考え方と国語科の目標を根底に据えつつ、新教科書を活用して、それをいかに各学校の実態に応じて実効性のあるものにするかという点に配慮されたい。

### ● 学校・学級の実態に応じた指導計画および評価の計画作成

#### (1) 指導計画の作成について

指導計画の作成においては、教科書の単元の構成や配列を生かすことと、それを各学校・学級の実態に応じてアレンジすることとの両方が求められる。そのためには、教科書の各単元の特性を、単元に想定されている指導内容・言語活動の面で捉え直し、その特性がより生きるように指導計画を立てていくことが大切なことであろう。

例えば、次のような観点が考えられる。

- ① 単元の配列を考慮し、4月から学習した経験を生かして
- ② 前の学年の学習経験や身につけた力を考慮して
- ③ 学校独自の「総合的な学習の時間」との関連を図って
- ④ 教材の話題・題材・活動内容から国語科国語や他教科との関連を図って
- ⑤ 学校行事や地域の行事との関連を図って
- ⑥ 年間を見通した「帯化」した扱いで

#### (2) 評価計画の作成について

本資料における評価項目は、学習指導要領の指導事項をもとにして作成した。こうした評価は、単に児童の実現状況を見るのではなく、一人一人の児童の成長のために生かされなければならない。計画的に評価活動を実施し、継続的に学習活動全体の習得状況を把握することと、児童一人一人の学習状況を理解して個に応じた指導の資料として活用することが求められる。

なお、各学年の授業時数は、学習指導要領に示されている「年間30単位時間程度」を基にしつつ、学校や児童の実態に応じた指導ができるよう、年間30～35時数を目安として設定した。新しい国語科書写の授業のあり方を目ざした年間指導計画および評価計画の作成に本資料が活用されることを願うものである。

学年 \ 時数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語科総時数	306	315	245	245	175	175
「書写」の時数	30-35	30-35	30-35 〔毛25-30 硬5-7〕	30-35 〔毛25-30 硬5-6〕	30-35 〔毛25-30 硬8-10〕	30-35 〔毛25-30 硬6-10〕